



よいここの
ために
手をとりあおう



2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度
会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1612 回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：鈴木健夫君

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。

10 月は、「地域社会の経済発展月間」と「米山月間」となっております。

「地域社会の経済発展」は、みなさまの会社の益々の発展は、申すまでもありませんが、時間に余裕のある方には、藤枝市内の飲食店で会社の関係者、友人、ロータリー等の皆さんと楽しい飲食をしていただき、地域経済の発展に協力をしていただければと思います。また、「米山月間」は、将来の日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる米山記念奨学生の「シンシン」さんの卓話を興味を持って聞いていただければ幸いです。続いて、「10 月 24 日の世界ポリオデー」の話させていただきます。ロータリーは、「ポリオプラス」のプログラムを 1985 年、40 年前に立ち上げて、世界のこどもたちに「ポリオによる身体のマヒに怯えずに暮らせる世界」という約束をしました。

日本では、過去に「小児マヒ」呼ばれ大流行を

しました。1940 年代頃から全国各地で流行がみられ、1960 年には北海道を中心に 5,000 名の患者が発生する大流行となりました。1961 年、今から 64 年前に生ポリワクチンを緊急輸入し、一斉に投与し流行は急速に収束しました。引き続いて、国産生ポリオワクチンが認可され、1963 年からは定期接種が行われ、2012 年からは、不活性ポリオワクチンの定期接種により、国内のポリオは終息を迎えました。

世界では、野生型のポリオウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの 2 か国でだけとなるまでの道のりは長くて困難なものでした。

どんな事業でもそうであるように、一番大変になるのは最後の 1 マイルです。だからこそ 10 月 24 日の世界ポリオデーに向かって、今年度は、明後日の 10 月 5 日（日）に藤枝大祭りの藤枝商工会議所 おもてなし広場前で「エンドポリオ募金活動」を行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、台風 15 号の災害義援金の件ですが、9 月 17 日には 2620 地区事務局に義援金をまとめて送金をいたしましたので報告いたします。

最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。



■ 出席報告

山田幸保君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
39/48 81.25%	45/48 93.75%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○飯田君○伊藤彰君○笠原君○川口君
○佐野博君○樽井君○富澤静君○森下君
○渡辺哲君

(1)メイクアップ者

伊藤彰彦君(藤枝) 稲葉俊英君(藤枝)
内山淑夫君(浜松) 中山恵喜君(地区)
望月誠君(ポリオ) 山田壽久君(ポリオ)

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊

食事準備数	食事提供数	残	累計残
43	43	0	5

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX

山田幸保君

- ・正妻のバースデーありがとうございます。
内山淑夫君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。
そして今日は結婚記念日でもあります
プレゼントありがとうございました。
山田壽久君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。
植田裕明君
- ・結婚記念日のプレゼントありがとうございました。
仲良くしていきます。古川賢吾君
- ・9月6日に、内山さんとしんしんさんと、私と
3人で柿田川の清掃作業に行ってきました。
前日の大雨もあり柿田川が増水の為、予定を
変更し、最初の1時間程度は清水町役場の担
当が行う座学、残りは柿田川の見学と柿田川
公園の草取りでした。当日は天気予報通りに
晴れて3人とも汗をかいての柿田川でした。
その後は、佐野さんのお誘いで瀬戸谷花火大
会と流しそうめんを美味しく頂き、3人とも
楽しく過ごせた1日になりました。今日は

米山記念奨学生、チョウしんしんさんの卓話
でございます。皆様の貴重な、お時間を頂き
行いますので、ぜひお聴き頂きたく存じま
す。
森竹正晃君

スマイル累計額 434,602円

■ 米山記念奨学生卓話

趙晨晨君



本日は私の故郷、遼寧省大連市を皆さんに紹介し
ます、内容は少し長いですが、皆様寝ないよう、
私の話を聞きながら、ぜひわからないところがあ
れば後でいっぱい聞いてください。

では、本日の発表内容は、以下の6つのテーマに
分かれています。

- 1つ目は「大連の都市紹介」
- 2つ目は「大連と日本の関係」
- 3つ目は「大連グルメ」
- 4つ目は「大連の消費データ」
- 5つ目は「大連の観光マーケティング」
- 6つ目は「私の高校紹介」

そして最後に、私が作った大連の動画をご覧いた
だきます。

① 大連の都市紹介

大連は中国遼寧省の南部に位置するみなとまち
で、人口はおよそ700万人です。美しい海岸線と
近代的な都市景観が特徴で、中国国内でも人気の
観光地のひとつです。気候は温帯モンスーン気候
で、冬は寒く乾燥していますが、夏は比較的涼し
く、過ごしやすのが特徴です。

さらに地理的には、黄海(こうかい)と渤海(ぼ
っかい)に囲まれた半島(はんとう)の先端にあ
り、天然の良港(りょうこう)を持つ都市として
も知られています。また経済特区にも指定され、
貿易や産業の面で発展を続けています。

ここで、大連の歴史についても簡単に触れてお
きたいと思います。大連の発展の背景には、複雑
な国際的関係があります。19世紀末から20世紀

初頭（しょう）にかけて、ロシア帝国が大連をそしゃくし、その後 1905 年の日露戦争により日本のとうちかに置かれました。日本は大連を重要な拠点と位置づけ、インフラや都市整備を進めたため、当時のせいや建築や街並みが現在も残っています。1945 年の第二次世界大戦終結後は中国にへんかんされ、中国とうほく地方の重要なこうわん都市としてふたび成長をとげました。このように、大連は外国の影響を受けながらも独自の文化を築いてきた都市です。

交通面では、バス、地下鉄、トラム、タクシー、配車アプリなどが整備され、特に地下鉄やトラムは観光に便利です。経済面では大連港が国際貿易の要所となり、アジア各国との交流が盛んです。さらに IT 産業や観光業も発展し、多角的な産業構造が大連経済を支えています。左側の写真は、大連地下鉄（Dalian Metro）です。中国遼寧省大連市で運行されている都市軌道交通システムを指します。最初の路線である大連地下鉄 3 号線は 2003 年 5 月 1 日に正式に開通し、大連は中国で 6 番目、遼寧省で初めて軌道交通を開通させた都市となりました。2025 年 3 月時点で、大連地下鉄の運行路線は 6 路線あり、大連地下鉄 1 号線、2 号線、3 号線（支線を含む）、5 号線、12 号線、13 号線が運行しています。運行距離は合計約 237.07 キロメートルで、駅数は 99 駅に達しています。また、2025 年 3 月時点で建設中の路線は 1 路線あり、大連地下鉄 4 号線一期（全長 27.76 キロメートル）です。

次に、大連の経済についてご紹介します。大連は、中国とうほく地方を代表する経済都市の一つです。こうわん都市としての地の利を活かし、貿易や物流の拠点として重要な役割を果たしています。特に、大連港は中国有数の国際貿易港として知られ、アジア諸国との取引が盛んです。大連は、中国東北地方を代表する経済都市です。造船業（ぞうせんぎょう）、石油化学（せきゆかがく）、そして機械製造などの重工業（じゅうこうぎょう）が特に盛んに行われています。さらに、大連は輸出入（ゆしゅつにゅう）の拠点として重要な役割をはたしています。港湾機能を持ち、中国北方（ほっぽう）で最大級の貿易港として国内外との交流を支えているのです。また、ハイテク産業やソフトウェア開発などの情報技術分野も急成長しており、多くの IT 企業や研究開発拠点が進出しています。海外からの投資

もかっばつです。加えて、観光業やサービス業も大連経済のはしらとなっており、観光客向けの商業施設や高級ホテルの建設が進んでいます。こうした多角的な（たかくてきな）産業構造が、大連の経済的な安定と成長を支えています。

ここでは、大連の魅力をもっとみじかに感じていただけるように、実際に人気の観光スポットをいくつかご紹介します。一番左の写真は xinghai 公園です。アジア最大級の広場で、面積はおおよそ 110 万平方メートルもあります。名前の通り、「星の海」という意味を持ち、美しい円形のデザインと広大なスペースが特徴です。この広場は 1997 年に香港返還を記念して整備され、中心部にきねんひやちょうこくがあり、市民のいこいの場として親しまれています。地元の人々や観光客が散歩したり写真を撮ったりする姿が多く見られ、「インスタ映え」スポットとしても人気があります。真ん中の写真は老虎滩海洋公園です。海と自然をテーマにした総合的なレジャースポットです。特に家族連れやカップルに人気があります。この公園には、大規模な水族館、イルカショー、遊覧船（ゆうらんせん）など、さまざまな施設が集まっています。アシカやイルカのパフォーマンスは非常に人気で、連日多くの観光客でにぎわっています。

右側の写真は「旅順口（りょじゅんこう）」です。旅順口は、大連市のなんせいに位置するみなとまちで、歴史的にとっても重要な場所です。日清戦争やにちろ戦争の舞台となった地として知られており、現在も多くの戦争いせきや記念館が残されています。当時の戦争の様子やへいしたちの生活について学ぶことができます。これらは日本とも深い関わりがあるため、日本人観光客にも訪れる人が多いスポットです。

② 大連と日本の関係

続いて、大連と日本の関係についてお話しします。大連はかつて日本の統治下にあった歴史があり、現在も日本風の建物や文化の影響が見られます。日本企業も多く進出しており、日本語を話す人も少なくありません。また、しまい都市でいけいや大学間の交流も活発に行われており、日本と大連は経済・文化の両面で深い結びつきがあります。1980 年代以降、中国のかいかくかいほう政策とともに、日本企業の対中投資が進み、大連には多くの日本企業が進出しました。また、大連には日本語を学ぶ学生が多く、日本語教育も盛んに行われています。そのため、日本語を話せる人材が豊

富で、日中ビジネスや文化交流の架け橋となっています。さらに、観光の面でも日本との交流があります。

日本からの観光客が大連を訪れる一方で、大連市民も日本を訪れやすく、相互交流が続いています。このように、大連と日本は経済、教育、観光といったさまざまな分野で密接な関係を築いており、現代社会においても重要なパートナー関係にあるといえます。

左側の写真は、大連ですが、すべては日本の居酒屋やラーメン屋などの日本料理店です。

③ 大連グルメ

大連は海に面しているため、新鮮な魚介類（ぎょかいりい）が豊富です。日本人の口にも合う（あじづけ）が多く、旅行者にも好評です。まず、代表的な料理には「だいいんメンズ」や「てっぱんイカ」を紹介します。だいいんメンズは大連発のローカルスナックです。サツマイモのデンプンを使ったゼリー状のせいちを蒸し、ニンニクダレや辛味ソースをかけて食べます。よいちやローカルのけいしょく店で手軽に食べられる庶民の味です。てっぱんイカも屋台やよいちの定番料理です。新鮮なイカを鉄板でジュージューと焼き、特製の甘辛ソースやスパイス、ニンニクをたっぷりかけて仕上げます。食べ歩きに最適なストリートフードとはいええます。

続いてシャコとウニむしたまごを紹介します。大連海鮮の中で、特に人気が高いのが「皮皮虾（ピーピーシャー）＝シャコ」です。大連のシャコは身が締まり、甘みがあり、非常に美味しいと評判です。載せた写真は今年の春休み期間撮った写真です。ウニ蒸し卵は、なめらかな茶碗蒸し風のらんえきの上に、濃厚な生ウニを贅沢に載せた料理です。おすすめします

④ 大連の消費データ

近年、大連では所得水準が上昇し、消費活動が活発になっています。特に若者の間では、ファッション、外食、旅行への支出が増加しています。ネットショッピングやキャッシュレス決済も普及し、都市部では日常的に利用されています。観光消費のデータを見ても、ホテル予約件数は前年比 12% 増加しており、主な観光客の出発地は北京や上海、天津など大都市からです。SNS に投稿された飲食店やカフェの写真も人気を集め、観光地での飲食消費を後押ししています。

具体的なデータは提供されていませんが、観光シーズンにおいては、特に人気の観光地やホテル

周辺において、飲食消費も増加していると推測されます。これらは SNS で流行っている大お店の写真です。とても美味しいそうですね。

観光シーズンに来たら、大連のショッピング消費も増加しています。観光客は大連を訪れる際に同時に買い物も楽しんでいます。SNS 流行っている映えるスポット風のスタイルが、服屋や雑貨店でも取り入れられており、若者にとても人気です。

⑤ 大連の観光マーケティング

さき説明した大連の消費データから観光戦略を 2 つの視点から考えました。

1 つ目は「デジタルマーケティングの活用」です。

WeChat や小紅書（RED）といった SNS で、観光地の魅力を写真や動画で発信しています。インフルエンサーとの連携も盛んで、若者層に強い影響を与えています。大連はユニークな戦略を展開したらいいと思います。なぜかという、「ほっぽうの香港」と呼ばれるように、リゾート都市としてのイメージを前面に出し、夏のサマーリゾートとして国内外から観光客を集めています。星海広場や老虎灘海洋公園、歴史的建築などを組み合わせた「多様な都市観光」をアピールし、自然と都市文化を同時に楽しめる点を売りにしていくと観光地が増えます。

また、SNS やインフルエンサーを活用した観光プロモーションも進められており、若い世代の旅行者を意識したマーケティングが行う必要があると感じました。

2 つ目は「アクセス改善とインフラ整備」です。空港から市内へのアクセス情報や多言語対応の案内を充実させ、日本や韓国からの観光客を呼び込んでいます。WeChat ミニプログラムや日本語・韓国語対応アプリによって、観光ルート検索や交通案内を簡単に利用できるよう整備が進められています。大連のマーケティングは経済や観光だけではなくありません。

歴史的背景から日本との関係が深く、多くの日本企業や日本語人材が存在しています。

この点を活かし、空港などの場所で、大連は「日中交流のハブ都市」としてのブランドを強調し、教育交流や観光誘致を通じて、日本との結びつきをアピールする戦略もいいと思います。

⑥ 私の高校紹介

最後に、私の高校についてご紹介します。

私の高校は大連経済技術開発区第十高校です。朝が早く、授業は 7 時前後から始まります。夜には自習があり、夜の 9 時や 10 時まで学

校に残ることも少なくありません。これに対して日本の高校は、授業が8時半ごろから始まり、放課後は部活動に参加するのが一般的です。そして夜は自宅で勉強するスタイルが多いと思います。日本との学校行事にも違いがあります。私の高校は運動会や集会はありますが、文化祭や修学旅行はそれほど盛んではありません。また、服装や髪型、携帯電話の使用などが厳しく管理されます。一方で、日本の高校は学校によって差はありますが、生徒の自主性を重んじる傾向が強いと感じます。中国のほかの高校と比べると、私の高校では比較的行事が多く、年間に2回の運動会と1回の芸術祭があります。これらの活動は、私にとって大切な思い出になっています。

普段の学校生活についても少し紹介します。授業が終わって、夜は学校の寮に戻り、同じクラスの6人から8人で1部屋を使って一緒に生活していました。朝は7時までに教室に入り、「早読」と呼ばれる読書の時間があります。英語や中国語のテキストを音読して、一日の学習リズムを作ります。さらに10時になると運動場に集まり、朝礼やラジオ体操、集団でのランニングを行います。その時には、高校1年生から3年生まで、全校生徒が一斉に運動場に集合することです。

このように、中国での高校生活は規則正しく、勉強中心でありながら、行事や寮生活を通じて仲間とのつながりも深めることができました。私の高校の教育理念は心で心を育て、幅広い知識で知恵を伸ばし、上品さで人の品格をつくることを大切に、心の教育と知識学習を結びつけていくことです。毎週には自分が感じたストレス、困ることをほんとの名前ではなく、かめいを付けて手紙を書いて専用ポストに入れます。次の週の月曜日に専用な壁に自分のかめいを付けている手紙を取って返信を読みます。それは私の高校時代において多くの問題が解決されました。

まとめと動画

ここまで、大連の都市紹介から歴史、日本との関係、グルメ、消費データ、観光戦略、そして高校紹介までお話ししてきました。大連は歴史と国際性、そして観光や食文化の魅力を兼ね備えた都市です。

最後に、私が作った大連の動画をご覧ください。実際の映像を通して、大連の雰囲気をさらに感じ取っていただければと思います。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/10(金) 第 1613 回	移動例会	総合運動公園
10/24(金) 第 1614 回	会員卓話	小杉苑
10/31(金) 第 1615 回	早朝例会	
11/7(金) 第 1616 回	会員卓話	理事会





私の好きな言葉は「継続は力なり」という言葉です。

特に何がすごい出来るというわけではないのですが、運動音痴

だった自分は小学校から勉強よりも運動を続けてきました。今考えれば、それが、すぐあきらめないという心を強くしてきているものだと思います。

家では、娘とスポーツ観戦をすることが多く。スポーツでは感動する場面や言葉がたくさん出てきます。最近では、車いすテニスの小田凱人選手がグランドスラムをなしとげたときにいった言葉が、「虹は、雨のあとでしか見れません。雨の中でも、見れません。すべてが過ぎ去ったあとに、虹は見れます。僕にとって、ニューヨークでの出来事は、そのようなものでした。どんなに結果を信じて、夢を願っても、人を愛しても、それが叶わないときや愛されないときもあると思います。自分を信じて、自分のことを愛するまでは。僕は自分のことを信じれなくなったことは、一度もありません。僕は自分を愛せなくなったこともありません。だから、僕は、虹を見れたんだと思っています。」

といった言葉でした。国枝選手に次いであれだけ強いと思われていた選手でもこんな気持ちになるんだなということと、目標を持って努力をしていることに感動しました。

もう一つは皆さんご存じのアントニオ猪木の名言です。これは、自分の大学の友人がプロレスが大好きでよくものまねをしていてなんとなく知っていた言葉ですが、いろんなことに通じるものだなと思っている言葉です。

「この道をゆけばどうなるものか、危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし、踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ 行けばわかるさ」

なかなか、新しいことに踏み込むには勇気がいられます。特に、仕事では勇気だけでは行動できないこともあります。振り返ると深い意味のある言葉だなあと気づくときがあります。



おめでとうございます！



10/4 インターシティミーティング



10/5 エンドポリオ募金活動



(担当/秋谷貴也君)